

平成 26 年度

公益財団法人いわき市教育文化事業団予算書  
(抜粋)

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

# 目 次

	ページ
・ 事 業 計 画 書 -----	1
・ 収 支 予 算 書 -----	9

# 事業計画書

# 平成26年度事業計画

平成26年度は、当財団が公益財団法人として新たにスタートする年度であります。

非営利活動を通して、広く市民の利益の向上に寄与することを求められる公益財団法人とし、地域における教育文化の向上発展に寄与することを目的とする事業活動を行う上で、これまで以上に公正さや透明性に留意した運営に努めていくことが求められています。このことを踏まえ、事業全体において「公益財団法人」を意識して、各事業を実施していくことを基本方針とする法人運営を行ってまいります。

公益財団法人の中心的事業として位置付けられる公益目的事業は、学術及び芸術文化の振興を目的として実施する「埋蔵文化財の発掘調査事業」、学術及び芸術文化の振興と青少年の健全な育成を目的として実施する「教育文化施設の管理運営事業」の2事業であります。

埋蔵文化財の発掘調査事業では、遺跡の発掘調査、整理、研究、報告書の刊行、調査遺跡や出土資料の公開・展示などの活用を行ってまいります。

教育文化施設の管理運営事業では、福島県から受託の1施設、いわき市から受託の6施設の計7施設の指定管理者として、利用者ニーズを踏まえ常設展及び企画展の開催、講座・講演会や体験学習会等の事業を行ってまいります。

## 1 文化財部門（公1 埋蔵文化財の発掘調査事業）

### (1) 基本方針

本年度事業は、試掘調査では震災復興土地地区画整理事業や震災復興関係及び一般住宅等の試掘調査事業が3件、本発掘調査では震災復興関係事業、新病院建設事業、久之浜バイパス建設事業、市道改良工事事業、泉第三土地地区画整理事業、民間開発事業が6件、また、本発掘調査の終了後に行われる資料整理・報告書作成・刊行を9件予定しております。

これらの事業を実施するに当たっては、本発掘調査における安全な作業環境の確保と事故防止、事業の円滑化に努めるとともに、調査遺跡や出土資料の公開・展示などの活用を図ってまいります。

### (2) 事業計画

No.	事業名	委託者	遺跡名	事業内容
1	市内遺跡発掘調査	いわき市 (文化・スポーツ課)	市内一円	試掘・本発掘調査、 整理・報告書作成
2	市内遺跡発掘調査 (復興交付金)	いわき市 (文化・スポーツ課)	市内一円	試掘・本発掘調査、 整理・報告書作成、 刊行
3	市内遺跡発掘調査 (久之浜地区)	いわき市 (文化・スポーツ課)	久之浜・ 末続地区	試掘調査、整理・報 告書作成、刊行
4	久之浜バイパス遺跡発掘調査	磐城国道事務所	前上ノ山遺跡	本発掘調査、整理

No.	事業名	委託者	遺跡名	事業内容
5	泉第三土地区画整理事業埋蔵文化財発掘調査(その1) (25年度繰越)	いわき市 (小名浜区画 整理事務所)	泉町A遺跡	本発掘調査、整理
6	薄磯震災復興土地区画整理発掘調査(その1) (25年度繰越)	いわき市 (都市復興推進課)	薄磯貝塚・ 三反田遺跡	本発掘調査、整理・ 報告書作成、刊行
7	薄磯震災復興土地区画整理発掘調査(その2) (25年度繰越)	いわき市 (都市復興推進課)	薄磯大平遺跡	本発掘調査、整理・ 報告書作成、刊行
8	いわき市立総合磐城共立病院新病院建設発掘調査 (25年度繰越)	いわき市 (共立病院)	久世原館跡	本発掘調査、整理
9	磐出館跡発掘調査	民間団地造成	磐出館跡	本発掘調査、整理、 刊行
10	埋蔵文化財発掘出土品等整理	いわき市 (文化・スポーツ課)	久保ノ作洞窟外	整理
11	餓鬼堂地区埋蔵文化財発掘調査	いわき市 (林務課)	餓鬼堂横穴群	整理
12	泉第三土地区画整理事業埋蔵文化財発掘調査(その3) (25年度繰越)	いわき市 (小名浜区画 整理事務所)	泉町C遺跡 2～17区	整理
13	泉第三土地区画整理事業埋蔵文化財発掘調査(その4)	いわき市 (小名浜区画 整理事務所)	泉町A遺跡・ 御前田B遺跡	整理
14	水品・長友線埋蔵文化財発掘調査	いわき市 (土木課)	水品遺跡	整理・報告書作成、 刊行
15	岩間震災復興土地区画整理発掘調査 (25年度繰越)	いわき市 (勿来区画 整理事務所)	小原遺跡	整理・報告書作成、 刊行
16	久之浜震災復興土地区画整理発掘調査 (25年度繰越)	いわき市 (都市復興推進課)	久之浜条里跡	整理・報告書作成、 刊行
17	市内遺跡発掘調査 (復興交付金) (25年度繰越)	いわき市 (文化・スポーツ課)	専称寺総門・ 本堂	整理・報告書作成、 刊行

## 2 施設部門（公2 教育文化施設の管理運営事業）

### （1）基本方針

平成26年度からの契約期間となる指定管理に向けた取り組みを行ってまいりましたが、いわき市アンモナイトセンター、いわき市考古資料館、いわき市立草野心平記念文学館及びいわき市草野心平生家、いわき市暮らしの伝承郷、福島県いわき海浜自然の家の6施設が平成26年度から平成30年度までの5か年、いわき市生涯学習プラザが平成26年度の1か年指定管理者の指定を受けました。施設の管理運営に権限と責任を持ち、設置目的、機能及び公共施設の持つ意義についてさらに理解を深め、公平かつ平等なサービスの提

供に努めます。また、施設職員が有する専門的な知識を公民館等へ有償提供し、当財団の専門性を市民の方々にアピールしてまいります。

## (2) 事業計画

### ア いわき市アンモナイトセンター

一般体験発掘事業は、個人や家族を対象とした体験発掘を毎週土曜日・日曜日（第3日曜日を除く）・祝日、及び5月の連休や8月のお盆休みの実施に向けて取り組んでいきます。特別体験発掘事業は、学校などの団体を対象としたカリキュラムとして、一般体験発掘実施日以外の開館日に実施します。

親子自然探訪教室は、毎月第3日曜日を開催日とし、親子を対象として自然科学分野に関する各種体験教室を開催します。身の回りの自然や現象に触れることで、自然科学分野への興味を深め、科学する心を育てます。

企画展は、小・中学校の夏休みにあわせ「おいらの博物館Ⅱ－四倉史学館収蔵化石展－」（仮）を、冬休みには「双葉層群の産出化石展」（仮）を開催し、いわきから産出する化石への理解を深める企画展示・体験を実施します。

公開シンポジウム（化石講演会）は、9月に久之浜中学校を会場にして、四倉史学館と化石にまつわる思い出を地元化石研究家に講演いただき、小・中学生はじめ一般市民に古生物の魅力を伝えることを目的に開催します。

### イ いわき市考古資料館

企画展及びミニ企画展は、第1回企画展「近世いわきの藩展 湯長谷藩」、第2回企画展「平成25年度発掘速報展」、第3回企画展「道具の歴史Ⅰ」、ミニ企画展「干支－ひつじー」の4回開催します。第1・3回企画展は、今年度からの新たなシリーズ企画で、各企画展ともにより理解を深めていただくため、展示解説会、遺跡報告会、講演会、見学会等をあわせて開催します。

講座は、夏休みの児童を対象とした「自由研究に挑戦しよう!!」、質の高いボランティアを養成する「ボランティア養成講座」、また、新たに成人を対象とした「新しいいわきの考古学講座」を開催します。「中田横穴青空講座」は震災後中断していますが、市の一般公開再開に合わせて開催してまいります。

体験学習会は、「GW体験学習会」・「夏休み体験学習会」・「古代まつり」のほか、「勾玉づくり体験会」を夏・冬休みに合わせて計13回開催します。夏休み最後の土・日曜日には「キッズミュージアム in 考古資料館」を開催します。

学校等からの要請により先方へ出向いて開催する出前講座及び歴史に関する問合せや資料の貸出等についても、積極的に対応してまいります。

平成25年度に引き続き緊急雇用創出事業「収蔵化石資料（石炭化石館内）の整理登録事業」を行います。

### ウ いわき市立草野心平記念文学館及びいわき市草野心平生家

文学館では、春、夏、秋の計3回の企画展を開催します。

春の企画展「草野心平の詩 富士山編」では、信仰の対象と芸術の源泉として世界遺産にも登録された富士山を、草野心平（1903～1988）の詩、随筆、書、画などで紹介し、詩人独特の感性と多彩な手法による表現を通して富士山の魅力にあらためてふれます。

夏の企画展「青山剛昌の世界展（仮称）」では、日本を代表する漫画家、青山剛昌（あおやまごうしょう 1963～）の作品から、青少年を中心に広く知られる代表作で連載20年を迎えた「名探偵コナン」を中心に紹介し、原画、草稿などを通して作者と作品の魅力に迫ります。

秋の企画展「米原万里展（仮称）」では、ロシア語通訳、エッセイなどの分野で幅広く活躍した米原万里（1950～2006）の魅力を、自筆資料、書籍、国際色豊かな遺愛品などで紹介します。

また、スポット展示として「草野心平と川内村」「吉野せい」「草野天平」など、計6回を開催します。文学散歩、サマーナイトの催しなどのほか、親子で楽しめるおはなし会（えほん読み聞かせ）やワークショップ、文学館が建つ地元小川町の団体との連携イベント、ボランティアとの連携事業「居酒屋 火の車」関連の催しなどを継続します。

平成25年度に引き続き3緊急雇用創出事業「文学資料の状態確認・分類・保全事業」を行います。

生家では、「心平誕生日の市民朗読会」「心平忌・心平を語る会」「草野天平の集い」などのほか、生家ボランティアの会を講師とした折り紙のワークショップを開催します。

## エ いわき市暮らしの伝承郷

企画展は、7～8月に「いわきの昔野菜展Ⅱ」、9月～10月に「伝承郷収蔵品展」、12～1月に「年中行事展」の3回開催します。特別展は、2月～3月に「伝統工芸作品展」を行います。

講座は、民俗学講座を5回開催します。体験事業は、技術の伝承や伝統に親しむための体験学習を、四季折々の特色や年中行事の要素も織り交ぜながら25回開催します。このうち「キッズ民話語りの会」は21回目の大会として、受講生（小学生）のほかにOBの参加を募ります。

そのほか、現代社会では行われなくなった行事を再現する「節句飾り」や、「盆棚飾り」、「正月飾り」などの年中行事も、例年通りに20回、内容や規模の拡充を図ります。

古民家を中心とした園内の景観や昔の暮らしそのものを復元することにより、生活文化の伝承をめざします。また、ウグイや鮎などの川魚、つるし柿や梅干し・干しダイコン・とうがらしなど本物志向の展示や、菜の花・朝顔・ひまわり・きゅうり・白菜などの花木・野菜を育成するなど、来館者に親しみの持てる空間の提供に努めます。

平成25年度に引き続き、緊急雇用創出事業「暮らしの伝承郷における農村風景復元

・伝承事業」を行います。

なお、市民への広報については、ホームページの質的な充実や各メディア等への情報提供の工夫など、大幅な広報拡充を行い事業等の周知を図ります。また、アンケートや事業懇談会を活用して自己評価を行いつつ、適正な市民へのサービス提供に努めてまいります。

#### オ いわき市生涯学習プラザ

平成26年度は新たな指定管理期間のスタートとなり、また、第5期生涯学習推進計画が2年目を迎え、生涯学習の拠点施設としてその役割を全うすべく、次のように事業を推進し、多様な市民ニーズに応えられるよう一層努めてまいります。

プラザが企画し運営する27の主催講座の他に、サークルが自主運営する「サークル企画講座」、ITボランティアや子育て支援ボランティアが運営する「ボランティア活用講座」は参加者から高い評価を得ており、今後もサークル・ボランティアの皆さんと連携を強めながら様々な講座を展開し、市民のニーズが高く応募者が多い「パソコン実用講座」は、引き続き受講者の要望を的確にとらえ開催してまいります。

また、他の団体との共催による事業として、(社)茶道裏千家淡交会いわき支部とのお茶の会、いわき華道連合会との生け花展などを開催し、他に、市立美術館との連携講座として、いわきゆかりの作家の作品などを通して美術を学ぶための講座を開催いたします。

さらに、いわきヒューマンカレッジ（市民大学）や10回目を迎える生涯学習フェスティバルなど全市的事业を実施し、なお一層生涯学習の推進に努めてまいります。

#### カ 福島県いわき海浜自然の家

福島県いわき海浜自然の家は、心身ともに健全な青少年の育成と生涯学習の振興のため、これまで休止していた野営場を再開し、利用者の自主・自立的な野外体験活動を支援してまいります。

利用者の事故防止や安全管理はもとより、多様なニーズや目的に応じた事業の充実を図り、効率的で柔軟な管理運営を行ってまいります。とくに、公民館をはじめ、他の教育文化施設との連携、ボランティアの養成等に努め、利用者の拡大と満足度の向上を図ってまいります。

特別企画事業として、震災復興・国立科学博物館コラボミュージアムのほか、春と秋の年2回のオープンデーや、森の音楽会などの利用促進事業、夏には、ふれあいサマーキャンプ、秋には、わくわくオータムキャンプなどの啓発事業、冬には、会津自然の家との協力事業として、福島の冬！ウインターフェスティバルなどを開催してまいります。また、通学キャンプや健康推進デー、クラフトデーなどを随時開催してまいります。

職員の知識と技能、接遇の向上を図り、「心配り」「気配り」のある健全な施設の管理運営と、県教育庁と密接に連携を図りながら、県民に親しまれる施設づくりに努めてまいります。

### 3 管理部門（法人会計）

#### （1） 業務執行体制等

公益財団法人への移行に伴い、新しく評議員会が設置されるなど、法人運営面における重要な意志決定の手続きがこれまでとは大きく変わることとなりますが、公益法人関連三法や当財団の定款に基づくルールを遵守しながら、円滑な管理事務の遂行に努めてまいります。また、今回の公益法人への移行により、定款をはじめとする諸規程の制定や改正が行われたことから、財団内部における諸規程の周知を図り、職員一人一人の理解を得て、コンプライアンス重視の組織づくりに努めてまいります。

#### （2） 情報開示

当財団の事業計画や事業報告、決算に関する財務諸表などの公開はもちろん、運営する事業の内容などについてもインターネット等を通じて情報の発信に努めるとともに、法人運営全般について公正さや透明性の確保に努めてまいります。

#### （3） 研修、啓発広報等

利用者への「安全・安心の確保と提供」、「満足のいただけるサービスの提供」、「質の高い専門性の提供」等の一層の向上を図るため、自主研修制度を積極的に活用し、関係資格の取得や研修の参加を推進いたします。また、地域に出向いての講座や展示会の開催、文化財マップの作成活用など多くの情報提供を通して、文化財保護思想及び当財団と各施設の専門性を市民の皆様に啓発広報してまいります。

#### （4） 指定管理者の申請

平成26年度指定管理者の指定を受けた7施設の中で、指定管理期間が唯一平成26年度の1か年の施設がいわき市生涯学習プラザであり、今後の市の動向を注視しながらも、引き続き指定を受けられるよう準備や情報収集に努めてまいります。

#### 4 職員に関する事項

平成26年1月1日現在

##### (1) 事務局

(括弧内数字：兼務職員数 単位：名)

区 分	事務局長 統括学芸員 統括研究員	事務局次長	係 長 主任研究員	副主任研究員	事務主任 研 究 員	主 事 研究員	嘱託職員	日々雇 用職員	計
事 務 局	3	1(2)		—	—	—	—	—	4(2)
企画管理係	—	—	1	—	1	—	1	2	5
調査第一係	—		1	—	1	—	5	—	7
調査第二係	—	—	2	—	—	—	—	16	18
計	3	1(2)	4	—	2	—	6	18	34(2)

##### (2) 施 設

区 分	館 長 所 長 副館長	次 長 副館長 専門学芸員	係 長 副 所 長 主任学芸員	副主任指導員	事務主任	主 事 学芸員 指導員	嘱託職員	日々雇 用職員	計
アンモナイト セ ン タ ー	1		1	—	—	—	1	2	5
考古資料館	(1)	—	(3)	—	—	—	(1)	4	4(5)
文 学 館	2	—	2	—	—	—	—	6	10
伝 承 郷	1	1	—	—	—	—	—	9	11
生涯学習 プ ラ ザ	1	1	1	—	—	1	1	6	11
いわき海浜 自然の家	1	1	—	1	1	1	4	7	16
計	6(1)	3	4(3)	1	1	2	6(1)	34	57(5)

合 計	9(1)	4(2)	8(3)	1	3	2	12(1)	52	91(7)
-----	------	------	------	---	---	---	-------	----	-------

# 収 支 予 算 書

# 収 支 予 算 書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位千円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考	
一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益 (A)	32			新公益法人会計基準適用に伴う変更のため前年度予算額の記載はありません。	
基本財産受取利息	32				
事業収益 (B)	724,892				
文化財調査受託料	315,374				17件
施設指定管理料	371,897				7件
施設事業受託料	32,991				3件
施設利用料	4,392				1件
出版物頒布料	238				
受取負担金 (C)	168				
講師派遣料	168				
受取寄附金 (D)	0				
寄附金	0				
雑収益 (E)	249				
受取利息	23				
雑収益	226				
経常収益計 (F)	725,341				
(2) 経常費用					
事業費 (G)	695,895				
給料手当	151,224				
賃金	180,394				
共済費	51,247				
報償費	5,101				
旅費	4,408				
消耗品費	10,947				
被服費	602				
燃料費	13,163				
食糧費	303				
印刷製本費	18,703				
光熱水費	32,654				
修繕費	6,710				
医薬材料費	127				
通信運搬費	6,575				
広告料	341				
手数料	2,630				
筆耕翻訳料	0				
保険料	1,196				
委託料	76,039				
使用料及び賃借料	59,212				
工事請負費	38,798				
原材料費	970				
負担金	449				
公租公課	32,597				
消耗什器備品費	950				
減価償却費	555				

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
管理費 (H)	30,806			新公益法人会計基準適用に伴う変更のため前年度予算額の記載はありません。
報酬	399			
給料手当	10,691			
賃金	5,195			
共済費	3,599			
報償費	814			
旅費	1,584			
交際費	80			
消耗品費	296			
被服費	60			
燃料費	144			
食糧費	90			
印刷製本費	1,697			
光熱水費	20			
修繕費	100			
通信運搬費	132			
広告料	150			
手数料	496			
委託料	1,671			
使用料及び賃借料	675			
負担金	462			
補償費	38			
公租公課	1,913			
消耗什器備品費	500			
経常費用計 (I)	726,701			
当期経常増減額	1,360			
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益 (J)				
経常外収益計	0			
(2) 経常外費用 (K)				
経常外費用計	0			
当期経常外増減額	0			
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額 (L)	1,360			
一般正味財産期首残高 (M)	104,248			
一般正味財産期末残高 (N)	102,888			
指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額 (O)	0			
指定正味財産期首残高 (P)	10,000			
指定正味財産期末残高 (Q)	10,000			
正味財産期末残高	112,888			

## 資金調達及び設備投資の見込について

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

### 1 資金調達の見込について

借入の予定なし

### 2 設備投資の見込について

設備投資の予定なし